

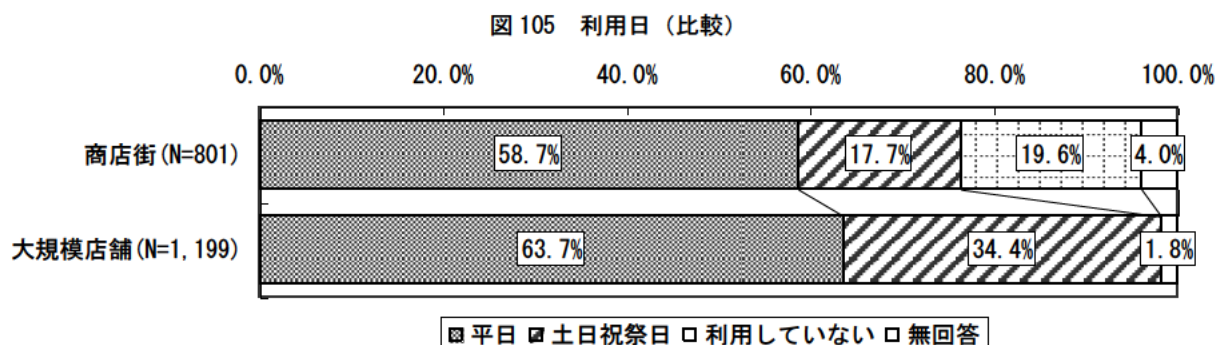
V. 商店街と大規模店舗の比較

商店街調査と大規模店舗調査で共通している設問において、両調査結果を比較して傾向をみる。

1 利用状況

1-1 利用日

利用日について比較してみると、「土日祝祭日」は大規模店舗では34.4%と、商店街（17.7%）の約2倍となっている。



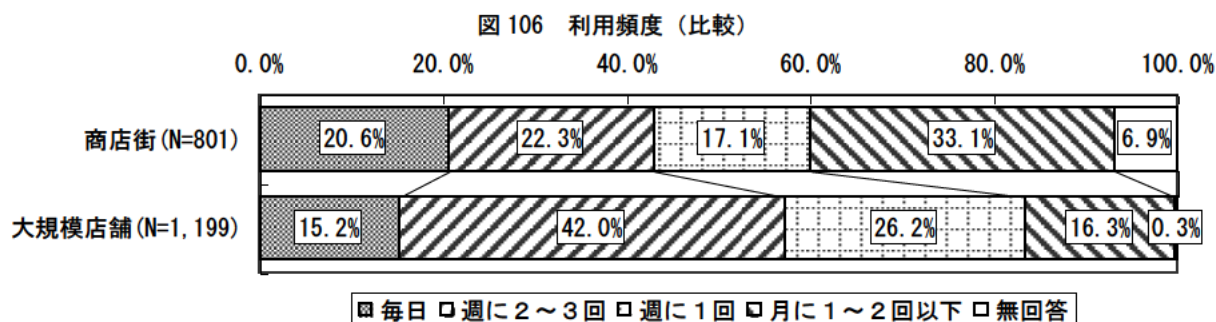
※大規模店舗調査には「利用していない」の選択肢はなし

1-2 利用頻度

利用頻度について比較してみると、商店街では「月に1～2回以下」、大規模店舗では「週に2～3回」がそれぞれ最も多くなっている。商店街では「毎日」が20.6%と、大規模店舗（15.2%）に比べて毎日利用する方の割合がやや高くなっている。

ここで郵送調査における年齢別 一般商店と大型店等の使い分け（図56）を見てみると、ほとんどの年代では大型店を普段利用しているが、70代以上については普段一般商店を利用するまたは使い分けていると回答した割合が高い。このことを併せて推察すると、多くの年代の消費者は、大型店を普段利用し週に2～3回まとめ買いするケースが多いものの、70代以上の消費者については大型店を普段利用せず、商店街を毎日利用しているからと考えられる。

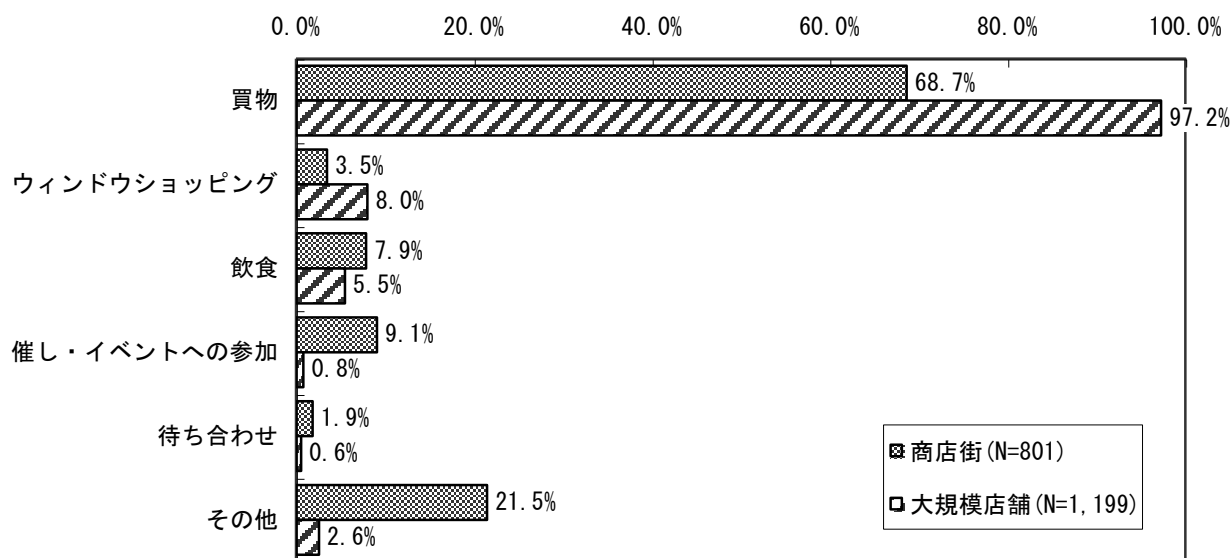
また、この要因としては、大型店は郊外に立地していることが多く、自動車を利用できず多くの荷物を持たない70代以上の消費者が公共交通機関等を利用し、まちなかにある商店街を普段利用していることが考えられる。



1-3 利用目的

利用目的について比較してみると、大規模店舗では「買物」がほぼ100%近くを占めているが、商店街では「買物」は7割弱にとどまっており、「その他」が2割以上を占めている。

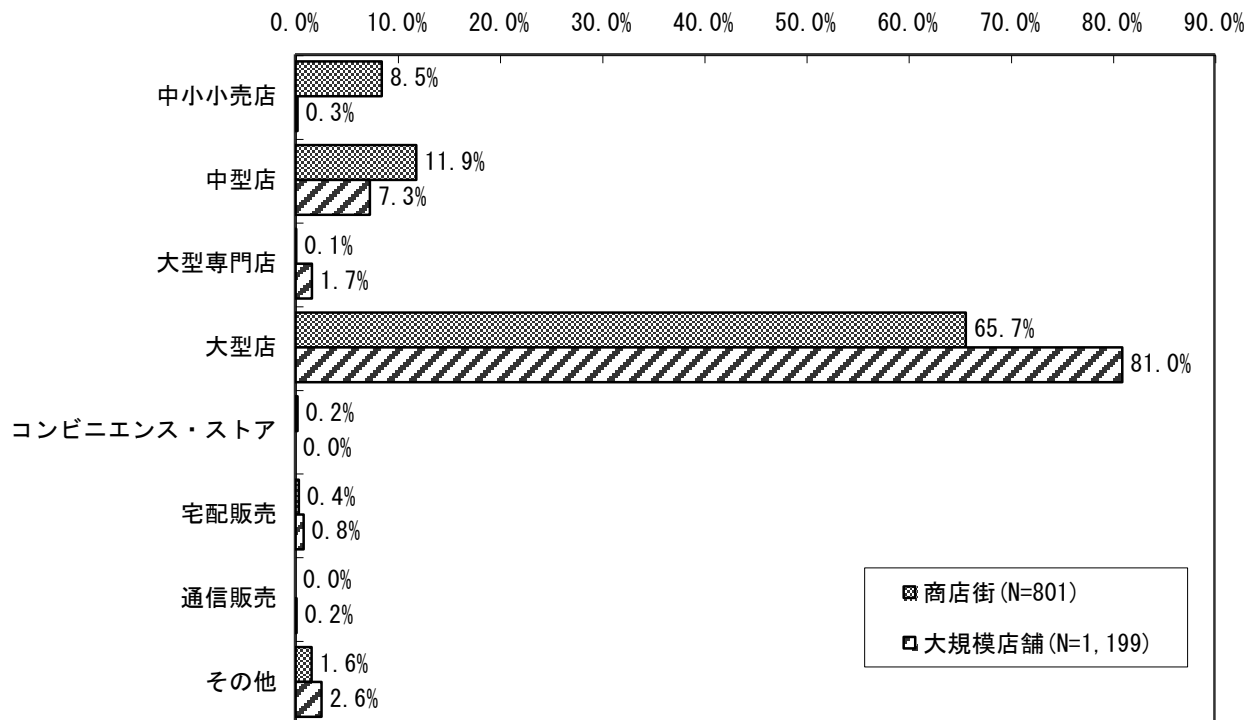
図 107 利用目的（比較）



2 普段買物をする場所

普段買物をする場所について比較してみると、「大型店」は大規模店舗では8割、商店街調査でも6割以上となっている。一方、「中小小売店」は商店街では8.5%とある程度を占めているが、大規模店舗では0.3%とほとんどみられない。

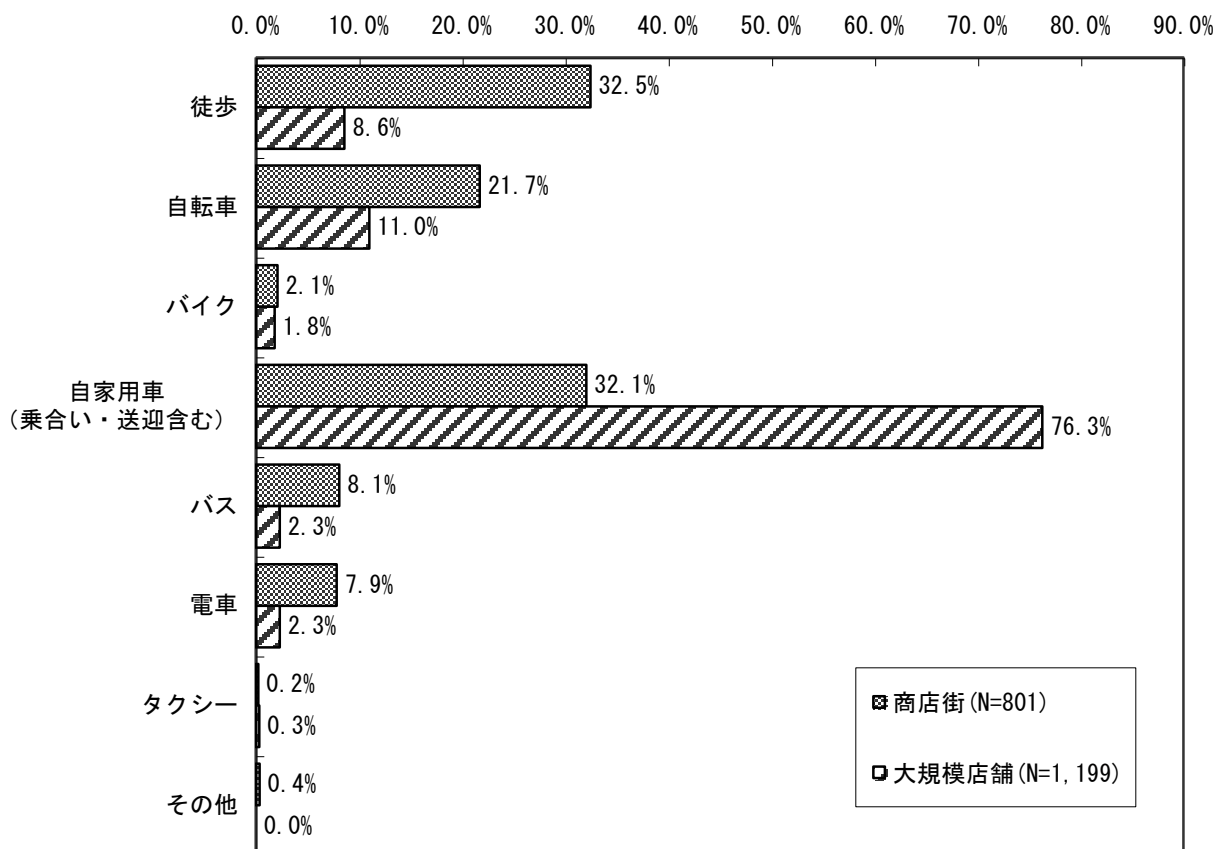
図 108 普段買物をする場所（比較）



3 利用交通手段

利用交通手段について比較してみると、商店街では「徒歩」と「自家用車（乗合い・送迎含む）」が共に3割強とほぼ同程度なのに対して、大規模店舗では「自家用車（乗合い・送迎含む）」が7割を超えており、大部分が車の利用となっている。

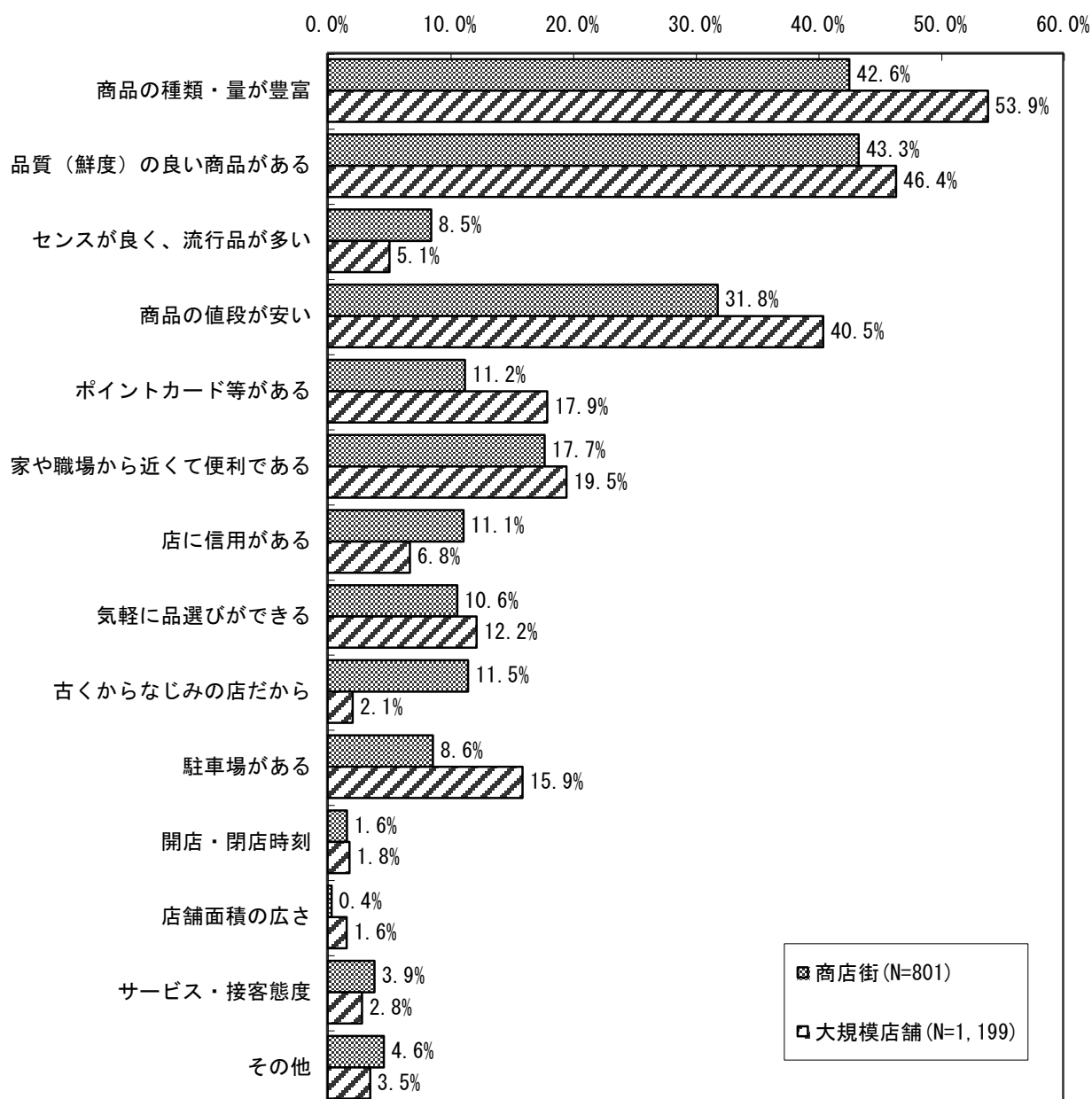
図 109 利用交通手段（比較）



4 買物で重視すること

買物で重視することについて比較してみると、大規模店舗が商店街より多い項目は「商品の種類・量が豊富」（11.3ポイント差）、「商品の値段が安い」（8.7ポイント差）、「駐車場がある」（7.3ポイント差）などとなっている。一方、商店街が大規模店舗より多い項目は「古くからなじみの店だから」（9.4ポイント差）、「店に信用がある」（4.3ポイント差）などとなっている。

図 110 買物で重視すること（比較）



5 商店街／大規模店舗に希望すること

商店街および大規模店舗に希望することについて比較してみると、「駐車場」では商店街が大規模店舗の約2倍となっている他、「気軽に品選びができる」「商品の種類・量の豊富さ」などで商店街が大規模店舗より多くなっている。一方、「商品の値段の安さ」「ポイントカード等の充実」などでは大規模店舗が商店街よりも多くなっている。

図111 商店街／大規模店舗に希望すること（比較）

